



鹿児島純心女子中・高等学校

保健室 No.7

令和5年 11月号



秋の夜長。寝れないときは…

日がくれるのが早いぶん早くなりました。1年のうち、最も昼が短くなる「冬至」まで、少しづつ夜が長くなっていきます。秋をのんびり過ごすのも風情がありますが、何となく寝れないときは、こんなことを試してみてください。

めらめのお風呂にゆっくり入る

血行をよくすることで、深部体温（体の内部の体温）が放散されて下がりやすくなり、生体リズムに合わせて眠る準備に入ることができます。



メディア・照明をOFF

タブレット、ゲーム機、スマホ等の明るい画面やたくさんの情報は脳を刺激し、覚醒を促します。照明はもちろんこれらの機器も早めに電源OFFに。



温かい飲み物を飲む

深部体温が一時的に上昇し、その後に低下する下げ幅が広がり、よい睡眠が得られると言われています。糖質や脂質を含まない白湯がおすすめ。

色々試した
けど…

寝れない…寝ても寝た気がしなくて疲れがたまる…

(参考)

イラスト版は講じらのメンタルケア
などからなる46のセルフマネジメントトリ

しっかり寝ているのに、
全然寝た気がしない

寝る前に色々
考えてしまふ

夜中に
目が覚める

日中も
眠たい

寝たいのに
寝つけない

睡眠は、体と心の健康に重要な役割を担っています。よく眠れないときは、体を活発にさせる交感神経が働いていて、体をリラックスさせる副交感神経が上手く働いていない状態です。

もし、眠れなくても、焦る必要はありません。焦ると余計眠れなくなります。且つぶつって横になっているだけで体も心も休むことができます。体をリラックスさせると、自然に眠れることもあります。

眠りに関するホルモンを整えよう

日光を浴びることでセロトニンという神経伝達物質がつくり出されます。セロトニンは心の安定に深く関わっていて、さらに睡眠ホルモンのメラトニンを生成するための材料にもなるため、セロトニンが不足すると寝つきが悪くなったり夜中に目が覚めてしまったりと、よい睡眠が得られにくくなってしまいます。

⚠️ 寝る前にはパソコンやスマートフォンの使用は避け、部屋を暗くして眠りましょう。

ストレッチ
コーヒーブレイク

漸進性弛緩法

人間は力を抜こうとしても無意識に力が入ってしまい、なかなか抜けません。そんなときは一度力を入れてから抜くと、驚くほど力が抜けます。

〈ポイント〉

- ① 眠れなくても焦らないようにしよう
- ② 漸進性弛緩法で思いっきり力を入れて一気に力を抜いてみよう
- ③ 最後にゆっくりとした呼吸を繰り返してみよう

① 仰向けに寝て、両手首と両足首を立てる。

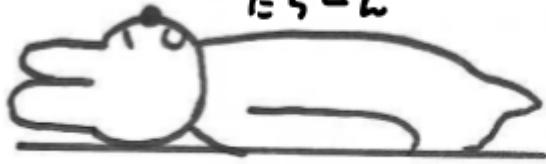


② 肩を上げて背中に力を入れる。
腰を浮かせるようにしてお尻に力を入れる。
奥歯を噛みしめて顔に力を入れる。



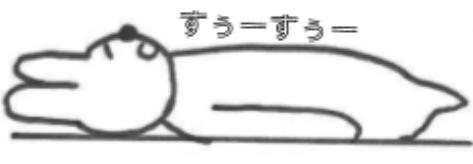
③ 全身の力を一気に抜く。

だらーん



④ これを3回くり返して、そのままゆっくりした呼吸をくり返しながら眠りにつく。

すうーすうー



11月1日は

いい姿勢の日



1つでも当てはまつたら姿勢が悪くなっているかも…

こんなことしていませんか？

- 足を組む
- 肘をついて座る
- 寝転んで本を読む
- スマートフォンを見る時間が長い
- いつも同じ側で鞄を持つ

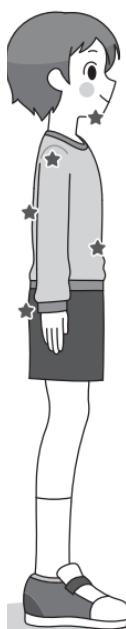
いい姿勢になろう！



(立っているとき)

★Check!

- あごを引く
- 肩の高さをそろえる
- おへその下に力を入れる
- 背筋を伸ばす
- お尻の穴を締める

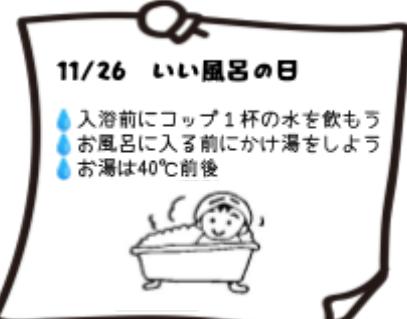
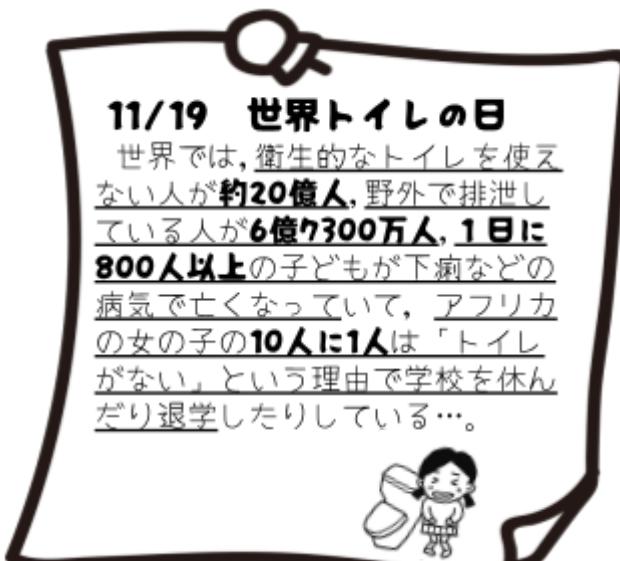
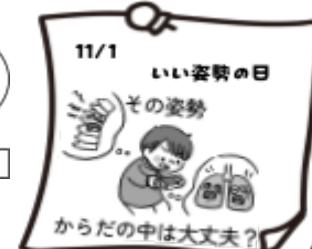


(座っているとき)

★Check!

- あごを引く
- 背筋を伸ばす
- イスに深く腰をかける
- おへその下に力を入れる
- 足を床につける

11月も元気に過ごそう！ いい〇〇の日 保健に関する日



悪い姿勢をしていると

◆体の不調の原因に

→お腹が圧迫されることで血流や内臓の働きが悪化し、胃潰瘍等の病気や便秘の原因になることが…

◆心の不調の原因に

→姿勢が悪いと自律神経が乱れ、気分の落ち込みの原因になり、不調が続くところ状態に繋がることも…

いい姿勢をしていると…

代謝が上がる

血流や内臓の動きが改善され、代謝が良くなる。体が痩せやすくなったり、肌がきれいになったりする！また、疲れもたまりにくくなる！

集中力アップ

背中が丸まっていると呼吸が浅くなってしまって、脳に酸素が届きにくくなる。姿勢が良いと、脳に酸素が十分に届いて、集中力がアップする！